



松山 篤夫 議員

## 「清酒で乾杯！」伝統文化を守ろう

### 飛驒国府駅の駅舎保存について

【問】国府町には、安国寺、清峰寺の円空仏などを訪れる観光客が多い。古い木造の飛驒国府駅はこれらの雰囲気と調和の取れた駅舎である。また、毎年春になると、桜の巨木がきれいな花を咲かせ、市民・観光客の目を楽しませてくれる。この駅舎は1934年（昭和9年）に建造されたもので、昭和初期の標準的な駅舎の姿を今に伝えるものであり、地域の大事な財産として、国の登録有形文化財として登録するべきではないかと思うが、市の登録申請に向けての取り組みは。

【答】飛驒国府駅は、昭和9年の建築当時の状態を残しており、周囲の桜とともに地域の良好な景観を形成していると考えている。登録には、所有者の同意が必要であり、今後、飛驒国府駅の文化財登録の可能性について検討していきたい。



昭和60年から無人駅となり、現在は町民の駅として利用されています。

### 清酒（地酒）の普及促進策について

【問】酒どころとして知られている全国の自治体が「清酒での乾杯」

を勧める条例を相次ぎ制定している。今年1月に条例を施行した京都市に次いで約10の自治体が同様の条例を制定した。高山市は清酒（地酒）においても全国に名が知られており、地酒は、市にとつて、飛驒の文化を代表する大事な伝統商品である。地酒による乾杯の習慣を広め、伝統産業である酒造業その他の関連産業の発展及び郷土愛の醸成を図るために「清酒（地酒）で乾杯」条例を制定する考えはないか。

【答】現在のところ制定するまでの必要性はないと考える。

### エコツーリズムの推進について

【問】五色ヶ原のような登山散策コース（例えば宇津江四十八滝から猪臥山登山等）を新たに開設できないか。

【答】自然保護など様々な観点で整備の検討を進めていきたいと思う。



若山 加代子 議員

## 低所得世帯の冬の暮らしを支える福祉灯油制度の実施を

### 福祉灯油制度について

【問】高山市の冬の生活に欠かせない暖房は、灯油価格が高くて家計の負担が重くなっている。最近の灯油価格は、福祉灯油を実施した平成19、20年度と比べても高い。またアベノミクスによる円高で、輸入原材料価格が高騰し、食品や電気料金などが上がっており、収入は増えていないのに暮らしていくための支出が増えている。

【答】高山市の冬の生活に欠かせない暖房は、灯油価格が高くて家計の負担が重くなっている。最近の灯油価格は、福祉灯油を実施した平成19、20年度と比べても高い。またアベノミクスによる円高で、輸入原材料価格が高騰し、食品や電気料金などが上がっており、収入は増えていないのに暮らしていくための支出が増えている。

### 生活保護基準の引き下げに伴う市民生活への影響について

【問】生活保護基準の引き下げが8月から行われたが、生活保護受給世帯への影響は。また生活保護基準を目安にしているほかの制度への影響は。

【答】平成25年8月分を支給している270世帯のうち83%の225世帯が減額となり、その多くは月額1000円未満の減額となっている。また17%の45世帯では、月額1000円未満の増額となっている。その中で影響が大きかった世帯は、世帯人数が多く小さい子どもがいる世帯について減額幅が大きくなっている。金額的には一番影響が大きかった世帯では2世帯で月額8000円弱の減となった。その他、2世帯において6000円弱の減額であった。各種制度への影響については、例えば就学援助については今年度は平成24年度の生活保護基準を対象としているので影響はない。その他の制度については国民健康保険一部負担金の減免のように適応実績がないという例が多く、実質的な影響はない。

旧制度に基づき判定するとしているものもいくつかあり、今後影響が出る可能性があるといえる。